

# 令和5年度年間授業計画

教科:情報 科目:情報の科学 校内科目名:情報の科学  
 教科担当者: 小久保 勝

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

教科書:  
 「情報の科学」(東京書籍)

補助教材:  
 「新『情報』活用テキスト式」(P検協会)

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<1学期> 1章 コンピュータの仕組みと働き 1 コンピュータ 1 情報のデジタル化 2 数値と文字の表現 3 画像と音の表現 4 デジタルの特徴 5 新しい技術や仕組み 6 コンピュータの構成 7 処理の仕組み 8 論理回路 2 情報通信ネットワーク 1 情報通信ネットワークの構成 2 インターネットの利用 3 データベース 1 大規模情報の蓄積と管理 2 データの正規化	1章では、コンピュータ、情報通信ネットワーク、データベースについて学び、情報社会を支える技術の基本を理解する。	1 出席・学習態度 2 課題実習の提出物 3 定期考査の得点 授業のうち半分程度、実習を行う。評価は定期考査のみならず、実習への意欲や態度などを総合的に評価する。	22
2 学期	<2学期> 2章 問題解決とコンピュータの活用 1 基本的な考え方と手順 1 問題解決のプロセス 2 情報の分析 3 解決方法の考案 4 解決方法の選択 2 モデル化とシミュレーション 1 問題のモデル化 2 シミュレーションの実行 3 処理手順の明確化と自動化 1 アルゴリズム 2 プログラム 3章 情報社会の科学的な理解 1 社会の情報化と人との関わり 1 暮らしの中の情報化 2 社会の情報化と生活の変化 3 操作性の向上と情報技術	2章では、問題が起こったときは、その本質を見極めたうえで、便利な道具を使って解決を図る。そのための問題解決の手法と手段を身に付ける。  3章では、情報社会で起こる出来事を科学的な視点で考察する。それにより、新たな発見をし、正しい対処法を見つめられるようにする。	1 出席・学習態度 2 課題実習の提出物 3 定期考査の得点 授業のうち半分程度、実習を行う。評価は定期考査のみならず、実習への意欲や態度などを総合的に評価する。	28
3 学期	<3学期> 2 情報社会の安全 1 セキュリティの重要性 2 安全を脅かす要因と対策 3 問題解決と情報の評価 4 情報社会の安全とルール 3 これからの社会と情報のモラル 1 新たなコミュニティ 2 情報モラルとマナー 3 社会の発展に向けて	引き続き3章では、情報社会で起こる出来事を科学的な視点で考察する。それにより、新たな発見をし、正しい対処法を見つめられるようにする。	1 出席・学習態度 2 課題実習の提出物 3 定期考査の得点 授業のうち半分程度、実習を行う。評価は定期考査のみならず、実習への意欲や態度などを総合的に評価する。	20
			合計	70

